

空間

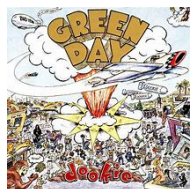
2020年8月1日

1 / 1

本格的に音楽を聴きだしたのは、中学校の時に借りた「THE BLUE HEARTS」というアルバムからだ記憶している。それから、X、リンドバーク、プリンセス プリンセス、ブルーハーツ、ジュンスカ、BOØWYなど邦楽をメインに聴いていた。

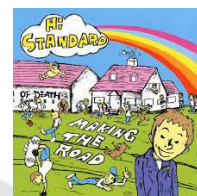


しかし、ある友人が洋楽を聴いているということで、貸してもらい衝撃を受けたのが



Green Dayの「Dookie」というアルバムだ。それ以降、パンク、メロコア、hip hop、R&Bなど多くのジャンルの洋楽を聴いてきた。

そんな洋楽ばかり聴いていたころ、いつだったかは忘れてしまったが、Hi-STANDARDの「MAKING THE ROAD」というアルバムを友人に貸してもらい、この人たち日本人??と衝撃を受けた。それから Hi-STANDARD



の過去の作品を購入し、聴き続けて20年以上になる。そんな彼らも2000年に活動休止を発表してしまい、彼らが主催するAIR JAMというフェスもなくなった。もう彼らを見ることは一生ないのかと思っていたところ、東日本大震災の復興を祈ってAIR JAM2011の開催と同時に活動再開というビッグニュースが舞い込んできた。このAIR JAM2011には3万枚のチケットに22万の応募が殺到したそうだ。Hi-STANDARDの復活を待ち望んだ人が多くいたことに嬉しくなってしまった。

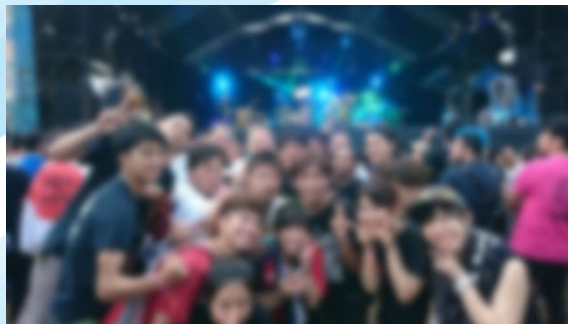
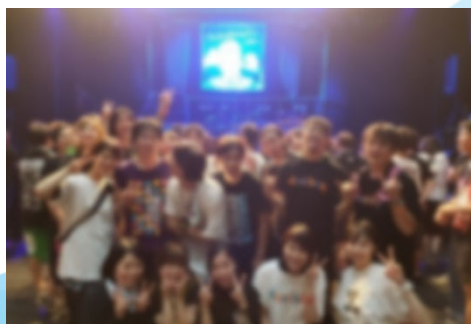
しかし、やはり見ることは叶わず、いつ見られるのだろうと思っていたところ、AIR JAM 2016が当時の福岡ドームで開催されるということで、チケットを取り、少し遠かったが彼らを見たときは、感動したものだ。それ以降何回かライブを見る機会があり、彼らのライブは老若男女みんな笑顔で楽しんでいる。そしてそれを見て楽しんでいる自分がある。ハイスタだけではなく日本にはテレビには出ないが、素晴らしいアーティストが沢山いる。WANIMAやマンウィズのようにライブハウスからテレビへ出る人たちもいるが、基本的にこの人たちに出会うにはライブハウスに行くしかないのだ。

しかし2020年コロナの影響で、ライブハウスは窮地に立たされており、続々とライブやフェスが中止になっている。このような状況下、閉めてしまうライブハウスも多くなってきた。もちろん音楽以外のイベントも数多く中止になっており、ストレスが溜まっている人も多いだろう。私もそのうちの1人だ。

ライブハウスといえばアンダーグラウンドな感じがして怖いというイメージを持たれる方も多いだろう。しかしコンサートとは違い、狭い空間での爆音はストレス発散にもってこいだ。しかも演者との距離が近いのでとても楽しい。いつも終わった後は汗だくで心地よい疲労感に襲われるあの空間に早く戻りたいものだ。ただコロナの影響で再開がいつになるか分からないので今は我慢の時だと思っている。

最後に笑顔が集まるあの空間に戻る日を願ってコラムを終わりにしたい。

Laugh at life



設計部 梅田